



羽生田 15号 だより



自由民主党群馬県参議院
比例区第八十二支部

羽生田たかし 国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319
FAX:03-6551-0319

羽生田たかし 群馬事務所

〒371-0022
群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680
FAX:027-289-8681

日本医師連盟推薦を受けて

平素より私の政治活動に対しまして多大なるご支援とご声援を賜っておりますこと心より感謝申し上げます。

また、先生方におかれましては地域医療を懸命にお守り頂いておりますことに敬意を表します。

7月3日の日本医師連盟執行委員会にて日本医師連盟推薦を頂き、7月20日に自民党第一次公認が決定し現在全国にご挨拶伺いさせて頂いております。

各地区の理事会を始め、会長会議、ブロック協議会や連盟執行委員会などでより多くの先生方とお会いし、意見交換する機会を頂戴いたしております。

改めて、全国に張り巡らされた医師会ネットワークの大きさと、いかに地区医師会が地域に根付いた活動をされ、その各地域で患者や行政、各医療関係職種の方々とも日々信頼関係を築きあげておられることを実感いたしました。

やはり地域医療を守っているのは先生方の医師としての使命と責任の賜であり、医療を消費としか考えず、削減ありき財政ありきでしか議論できない、財政審の民間議員に現実を突きつけたい、この現場を医療現場の現実をぜひ目を見開いて曇り無き眼で見て欲しいと思っています。

現在、国では概算要求と税制改正の議論が徐々に深みを増してきております。社会保障費の伸びを3年間で1.5兆程度、年に5000億程度の伸びに留めるといった目標を掲げられ、3年間高齢者が減ることへの対応策というように、自然増の抑制といった言葉で抑制ありきの政策を貫いて参りました。今年度から3年間は社会保障費の伸びが鈍化することもあり、5000億に留めるといった文言はありませんが、現段階の伸びは6000億程度と見込まれており、どのような対応をとっていかの議論がなされております。

この3年間は伸びが鈍化するもののその後は再度急速に伸びていくことが想定されており、今からの議論がそれ以降の伸びへの対応にも大きく左右していくこととなります。

また、来年10月には消費税が10%に引き上げる予定であり、医療界の長い間懸案でありました控除対象外消費税の抜本的解決をこの10%時に求めております。医業経営を圧迫するこの控除対象外消費税の問題は、やはり解決が必要な時期にきており、全力で医療界の統一意見を尊重し、皆様の納得する解決策に尽力して参る所存であります。

まだまだ、活動が足りず皆様にご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げますと共に、是非とも会合をはじめ、そして皆様方の元にお呼び頂けますようお願い申し上げます。沢山の皆様にお出合いする機会を頂き、地域医療をお支え頂いている先生方の生の声を聞かせて頂ける機会を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。私も全力で医政活動に取り組んで参る事をお誓いいたします。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

日本医師連盟推薦
自由民主党
参議院議員

羽生田 俊





主な活動



岩手県医師会野球大会にて小原会長と自見議員と



山梨県医師会 今井会長と



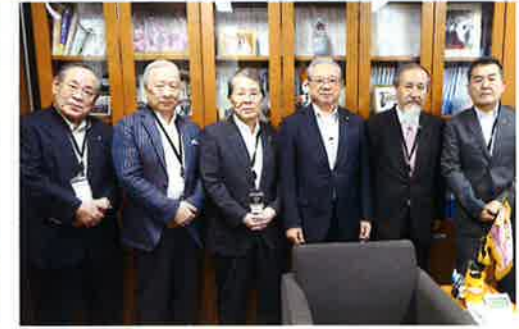
中四九地区医師会看護学校協議会でご挨拶



青森県医師会役員の皆様と



北海道医師会長瀬会長と



長野県医師会役員の皆様と



関東甲信越静学校医

関東甲信越静学校医協議会 群馬大会



長崎県島原市医師会の皆様と



日医連執行委員会にて決意表明



小児科医連盟松平会長より推薦状



岐阜県医師会役員の皆様と



沼田市医師会の皆様と国会見学



日医連執行委員会にて力強く皆様と一丸となったガンバロー！



沖縄県医師会 安里会長、金城先生と



九州医師会連合会第15回定期総会でご挨拶



日本医師会被災者健康支援連絡協議会



鳥取県医師会渡辺会長を訪問病院の医局にてご挨拶



福井県医師会大中会長を訪問日医生涯教育協力講座福井会場でご挨拶



全国有床診療所連絡協議会総会山口大会にてご挨拶



千葉県医師会執行委員会にてご挨拶



東北医師会連合会総会にてご挨拶

「羽生田たかし君を励ます会」開催についてお願い

平素より、羽生田たかし君の政治活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、羽生田たかし君は参議院財政金融委員会の理事として、財政論に押される社会保障財源の確保と、来年10月に控えた消費税増税による社会保障費及び控除対象外消費税の抜本的解決の為、財務大臣をはじめ財務省に対して鋭い議論を挑んでいる所であります。

また「医師の働き方PT」座長として日本医師会の掲げる2本柱「地域医療の継続性」「医師の健康への配慮」を両立させるべく、医療現場の現実と生の声を届ける努力をしております。

羽生田たかし君には、長年の日本医師会役員としての知識と見識を活かし、我々医療会の代表として、国民皆保険を、日本の医療を守る為、そして「医療基本法」「成育基本法」と医療関係者悲願の法律制定の為に国政の場での大いなる活躍を期待しております。

つきましては、下記日程にて「羽生田たかし君を励ます会」を開催する運びとなりました。ご多用中とは存じますが、何卒ご臨席賜りますよう心よりお願い申し上げます。

羽生田たかし後援会会長・日本医師会会長 横倉 義武

参議院議員 「羽生田たかし君を励ます会」

●日時/平成30年11月25日(日) 受付15:20～ 開会16:00

●会場/ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」〒100-0014 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL.03-3265-1111

●会費/20,000円

※ご来場の際は、別券にご記入の上、会場受付にご提示下さい。
※会費は当日会場でもお受けいたしますが、振込にてご送金賜れば幸いです。

振込先/りそな銀行 参議院支店 口座番号/普通預金0058622
口座名/ハニユダタカシクンヲハゲマスカイ

※この催物は政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。



自民党医師の働き方改革について

- 平成30年1月31日 PT設置
- 平成30年3月30日 PT役員会
- 平成30年4月26日 厚労省 医師の働き方検討会（中間論点及び緊急取組）
- 平成30年5月10日 日本医師会
- 平成30年5月29日 全国医学部長病院長会議・四病院団体協議会
- 平成30年6月14日 日本私立医科大学協会・日本私立医科大学協会
- 平成30年8月30日・中原のり子氏（東京過労死を考える遺族の会代表）
 - ・三島千明氏（青葉アーバンクリニック総合診療医）
 - ・赤星昂己氏（東京女子医科大学東医療センター救急救命センター医師）
- 平成30年9月11日・福井次矢氏（聖路加国際大学学長）
 - ・木戸道子氏（日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長）
 - ・若林稲美氏（武蔵野赤十字病院副院長兼看護部長）
 - ・矢口智子氏（日本医師事務作業補助研究会理事長）

自民党「医師の働き方改革PT」座長として6回のPTを開催し、日本医師会をはじめとする医療団体や医療職種の方々からヒアリングを開催して参りました。

また、私個人としても全国の医師会を訪問させて頂く中で地域の実情を含めた意見交換を各医師会のご協力を得ながら何度もさせて頂く事ができました。

日本医師会も「地域医療の継続性」「医師の健康への配慮」という二本柱を掲げ、検討をされておりますが、まさにこの2つを守りつつ働き方を変えていくのは中々答えが出るもので無いことは、議論を重ねる度に思い知らされます。しかしながら来年の3月には一定の方向性を示さねばなりません。

また現在は「応召義務」というものにより医師の時間外労働の特例が猶予されておりますが、この「医師の働き方改革」の方向や結論によって医師の働き方に上限時間を設定した場合、本当に地域医療を守れるのかはかなり懐疑的なものとなります。

やはり、一定の方向性は示した上で、法改正や立法措置が必要なのか、それとも何らかの解釈で対応可能なのか大きな判断が必要であると考えます。

この秋から先、いままでの意見や提案をまとめの方向に議論し、現行法で対応可能なもの、そうでないもの。そして①医師でなければ出来ないこと②医師以外へシフトできるもの③医師同士のシェアが可能なものに分けて議論し、さらには保険者を含めた「国民の医療のかかり方の理解」を取り組むべき方策などを議論して行かねばならぬと考えております。とはいえ、救急や小児科・産科などやはり何時と予定が立たない受入れ体制だけは常に必要な分野があることも確かです。

また、現状で労基署からは是正指導を受けた方々からも話を伺って参りましたが、結局は病院側の努力と採算度外視によってしか対処方法はなく、この働き方改革には環境整備も含め財源が大きくかかるもので有ることは明らかであります。何よりこの働き方を重視するあまり医師としては、一丁目一番地であります自己研鑽の機会を多く奪っている事も現場の先生方が切実に訴えられております。

自己研鑽を積みたい方々の機会を奪う改革は日本の医療の質の低下につながり、未来に大きな不利益をもたらすものであります。

最後になりますが、今まで団体や個人からのヒアリング、地域医師会の意見を聞いて一番感じたことは、日本の今の医療が医師の献身的な努力に依って成り立っているということに尽きます。

今後とも、皆様のご意見を頂きながら、「地域医療を守る」という視点を持った取りまとめに努めて参りたいと存じます。

医師の働き方PT 座長
参議院議員 羽生田 俊



医師の働き方改革 PT



医師の働き方改革 PT 後の
記者さんへのブリーフィング



日本医師会医師の働き方小委員会

